

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2023年11月28日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	治療困難なフォロー四徴類縁疾患に対する経カテーテル的対応
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	循環器科 田中 靖彦
研究期間	2000年1月～2023年9月
対象者	研究期間中にフォロー四徴症や類似の血行動態を示した疾患群の患者さんで、当院で肺動脈統合化手術と後肺動脈狭窄に対するカテーテル治療を受けた72例
当該研究の意義・目的	<p>フォロー四徴症や類似の血行動態を示す疾患群においてMAPCA（主要体肺側副動脈）を合併する症例では十分な肺血管を維持することが困難な症例も多くあります。肺動脈統合化手術やカテーテル治療を適切なタイミングで施行することにより十分な肺血管を維持することがその後の2心室修復、予後改善に重要であると考えられています。</p> <p>当院では乳児期に積極的に肺動脈統合化手術を行い十分な肺血管の維持に努めています。肺動脈統合化手術でつなぎ合わせたMAPCAは術後狭窄が問題となることがあり、この場合は積極的にカテーテル治療を施行しています。術後狭窄に対してどういったタイミングでどのようなカテーテル治療を行うのが効果的であるのか検討するため当研究を企画いたしました。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）や手術記録、カテーテル記録から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、診断、術後経過期間など）・狭窄病変のサイズ（カテーテル前、カテーテル後）・使用したバルーンのサイズ、種類、病変に対する大きさ・狭窄部に対するカテーテル治療で得られた狭窄病変の拡大率
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であるとされる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら

ら下記へご連絡ください。

静岡県立こども病院 循環器科 門屋 卓己

IVRセンター / 循環器科 金 成海

代表 054-247-6251